



心通う大会に

開会式・交流会

大会前日、ラポールゆやで開会式・交流会が行われ、大西市長は「素晴らしい景観と、おもてなしが皆さんを待っています。地域の人と心が通う大会になれば」とあいさつ。参加者はやきとりをはじめとする軽食を味わいながら、抽選会やゲストランナー・柏原竜二さんのトークショーを楽しみ、最後は思いを乗せた紙飛行機を飛ばしました。



選手を支える

ボランティア・事前清掃

大会の成功に向けて、5月には事前清掃やスタッフの説明会を実施。当日は約750人がボランティアスタッフとして参加し、エイドステーションの運営やコース誘導、給水や受付などで選手をサポートしました。エイドステーションでは、水分やフルーツのほかに、やきとりやかまぼこ製品なども提供され、選手の力となりました。



声援を力に変えて

地域の皆さんの熱い応援



限界を目指して

ダブルフルマラソン 84.39km



自己記録に挑む

シングルフルマラソン 42.195km



第1回 JAL 向津具 むがこく ダブルマラソン

6月11日(日)、油谷総合運動公園をスタート・ゴールとして、ダブルフルマラソン・シングルフルマラソン・棚田ウォークの3種目が行われました。ボランティアスタッフや地域のみなさんのあたたかいおもてなしを受け、823人の出場者がランやウォークを楽しんだ大会を写真で振り返ります。

景色を味わう

棚田ウォーク 約30km

